

平成29年度 第3回事例検討会 を開催しました！

12月13日（水）に第3回事例検討会を開催しました！

テーマは「**介護現場で知っておきたい関節の動かし方**」

今回の講師は当センターの理学療法士 高位 篤史 がつとめました。主に機能訓練に携わっている介護職や看護師などの皆さまに、リハビリの視点をもっていただきたいと思い、現場でのケアや介助の中で問題となりやすい関節拘縮をテーマとして取り上げました。



不動による弊害についてお話した上で、関節の構造から動かし方まで、基本的な部分を学んでいただきました。後半には参加者どうして実際に身体を使って体験していただき、その場で現場での事例や悩みを聞かせていただくことができ、私たちスタッフにとっても大変有意義な研修会となりましたし、今後の活動のヒントにもなりました。

研修会後のアンケートより

- 実際に関節の動かし方が体験できたのはよかった。
- ポイントを教えてもらったので、参考にしていきたいと思いました。
- 実際の事例を見ると角度などが分かりやすく、今後現場でも見ていこうと思いました。実演をしたので、わかりやすかったです。
- 関節可動域と姿勢、動作等、日々の観察が大切だと改めて感じました。今回の研修で基本的なことが学べてよかったです。変化にも気づいていけるようやっていきたいです。
- 介護職をしていると、身体の拘縮をしていく人を見ていくが、自分ではどうしようもないと思っていたが、今回の学びを踏まえ、今後は自分のできる範囲でリハビリを行い、少しでも拘縮を改善していきたいです。
- 関節の基本的な話から実践もあり、わかりやすかったです。
- 介護するにあたって、拘縮があるとどうしても介護者は無理な介助をしてしまい、ケガや事故が起きるので、この研修を伝えていけたらいいなと思った。
- 介護現場で今日の内容が活かしたら利用者がもっと苦痛なく生活でき、拘縮予防にもつながっていくと思いました。
- 人工股関節の方の関節のことが少し分かってよかった。無理に動かすのではないことを知ることができてよかった。

地域の医療機関、介護施設より 25 名の皆様にご参加いただきました。

たくさんのご参加、誠にありがとうございました。

～次回の研修会開催予定～

2018年2月 開催
テーマ「筋力トレーニング」

今回に引き続き、介護現場での機能訓練を想定した研修を考えております。

多数のご参加をお待ちしております！